





8時00分  
炊出しの部開始



小学校  
へ運搬



食事は廊下  
厳しくてごめんなさい

集会所や自治会館より  
受取に行きました



#### IV 受講と体験の部

Aコーナーとして、日本赤十字社香川県支部の皆さんに「一次救命処置講習・心肺蘇生とAED使用方法」を運営いただきました。

1時0分 1時1分  
Bコーナーとして、香川県防災士会西讃ブロックの皆さんに「断水トイレ対応体験」を運営いただきました。

11時2分 11時4分  
Cコーナーとして、観音寺市危機  
管理課の皆さんによる「段ボール  
ベッド組立解体体験」を運営いた  
だきました。

内に 17 ある子ども会の参加を狙つて、専門機関にご尽力いただきました。自治会加入率が低下する時代にあつて、腰を据えて加入促進

を図りたいからです。自治会は日本赤十字社や防災士、行政を支えられていることを認識しても、子ども会の親子世代にも社会性や協調性を育んでいただけます。

当自主防は、自治会協議会を中心  
に置いた上で関連重要団体長が加  
わり組成しています。

V 炊出しの部

常磐総合コミュニティセンター調理室と1階全体に借り物の大型炊飯器とガスコンロを並べ、「豚汁750食」「140g大のおにぎり500個」の炊出しを引き受けたいたいたのは、ときわサンサン子ども食堂運営有志、常磐公民館運営協力委員会女性部、自治会女性部の総勢35名の皆さんでした。

築の重要性を認識いたいたこと  
情報連絡訓練として、常磐地区自  
治会協議会が持つLINE公式ア  
カウントに集会所等代表者16名が  
全員参加し、次の項目を自主防本  
部と交信できたことが直接の成果  
でした。

所等役割数 48、避難代表 18 など計  
199人分。更に炊出し運搬給仕、  
ゴミ処理などもありました。そして、これらの人材はすべて、地区内  
20名の自治会長さんに選任願い派  
遣いたきました。派遣等に際し  
ては難しい点を含むと思いますが、  
各位より否定的な発言を一切聴く  
こともなくすべて実行いただいた  
ことは特筆すべき点です。

更に、「おいしく安全に」750食という大量の炊出しを難なく実現された女性有志の実力はまさにお見事でした。

〔1〕集会所等の名称	2 代表者名
3 避難所利用者登録票の徵求枚数	4 避難者数
5 死傷者数	6 昼給食の必要数
7 炊出し受取時刻	〔2〕

「久しぶりの集いが嬉しかった」との声も多くありました、「防災意識は高くも、高齢のため自宅を出られない」方が多かつた旨の報告は気がかりです。

むすび

令和7年9月に人的被害想定が見直され、常磐小学校避難者1870人を最大想定とせねばなりません。そのような中で、今回、体育馆に440人が入場し、避難所運営に必要な膨大かつ貴重な気づきやデータを得ました。他に多数の意見も結果論を承知で集積し今後活用してまいります。

意見も結果論を承知で集積し今後に活かしたいと考えています。

また、今回は、訓練の範囲を広げたため、多くの役割分担が必要になりました。具体的には、小学校とコミニティセンターにおける役割数133人分、並びに、各地集会

## VI 集会所等へ避難の

「避難所利用者登録票」を157枚232人分徴収し、受援体制構